

ラグビーワールドカップ2019の準備状況について

開催都市及びチームキャンプ地選定スケジュール

1. 開催都市選定

2015年1月

ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL※）並びにラグビーワールドカップ2019組織委員会による開催都市立候補地（※「開催都市立候補地」別紙を参照）の共同視察

※RWCL：ラグビーワールドカップに関わるすべての権利を保有する法人。WR（ワールドラグビー）の管理監督下にある。

*WR（ワールドラグビー）

2014年11月19日にIRB（国際ラグビーボード）から組織名称を変更

2015年2月

組織委員会理事会にて開催都市案を承認

2015年3月頃

RWCL理事会にて開催都市承認 ⇒ 確定

RWCL及び組織委員会による開催都市正式発表

2. チームキャンプ地選定ほか（予定）

2015年度9月18日～10月31日

ラグビーワールドカップ2015開催（イングランド）

2016年度

組織委員会によるチームキャンプ地選定プロセス準備及び発表

2017年度後半以降

各国出場チームが候補地を視察・検討 ⇒ キャンプ地決定

2019年9～10月

ラグビーワールドカップ2019開催（日本）

《参考》開催都市立候補地 一覧

| | 所在地 | 施設名称 | 施設所有者 | 収容人数 | 開催都市立候補地 |
|----|------|------------------------------|---------------------------------|--------|-----------|
| 1 | 北海道 | 札幌ドーム | 札幌市 | 41,983 | 札幌市 |
| 2 | 岩手県 | 釜石鶴住居復興スタジアム(仮称) *新設予定 | — | 15,000 | 岩手県・釜石市※ |
| 3 | 宮城県 | 仙台スタジアム | 仙台市 | 19,694 | 仙台市 |
| 4 | 埼玉県 | 熊谷ラグビー場 | 埼玉県 | 24,000 | 埼玉県・熊谷市※ |
| 5 | 東京都 | 新国立競技場 | (独)日本スポーツ振興センター | 80,000 | 東京都 |
| 6 | 神奈川県 | 横浜国際総合競技場 | 横浜市 | 72,327 | 神奈川県・横浜市※ |
| 7 | 静岡県 | 小笠山総合運動公園エコパスタジアム | 静岡県 | 50,889 | 静岡県 |
| 8 | 愛知県 | 豊田スタジアム | 豊田市 | 45,000 | 愛知県・豊田市※ |
| 9 | 京都府 | 西京極総合運動公園 陸上競技場兼球技場 | 京都市 | 20,668 | 京都市 |
| 10 | 大阪府 | 花園ラグビー場 (東大阪市花園ラグビー場: 予定) | 近畿日本鉄道(株) →15年4月に 東大阪市の譲渡 | 30,000 | 大阪府・東大阪市※ |
| 11 | 兵庫県 | 御崎公園球技場 | 神戸市 | 34,000 | 神戸市 |
| 12 | 福岡県 | 東平尾公園博多の森球技場 | 福岡市 | 22,563 | 福岡市 |
| 13 | 長崎県 | 長崎県立総合運動公園陸上競技場 | 長崎県 | 20,000 | 長崎県 |
| 14 | 熊本県 | 熊本県民総合運動公園陸上競技場 | 熊本県 | 32,000 | 熊本県・熊本市※ |
| 15 | 大分県 | 大分スポーツ公園総合競技場 | 大分県 | 40,000 | 大分県 |

・※の開催都市立候補地は連名での立候補。

・新国立競技場では開幕戦、および決勝戦を行うことが決定している。